

訂 正 連 絡

令和6年3月4日

各報道機関 殿

高校教育課長

令和6年度県立高等学校第一次入学者選抜学力検査における
問題用紙の訂正について

下記のとおり訂正します。

教科 理科

問題用紙 理6

(誤) 【3】 (3) 2行目

ア～エから選び,



(正) 【3】 (3) 2行目に追加

ア～エから1つ選び,

以上

受 験 番 号

令和 6 年度（一次入試）

理 科

（検査時間 9：30～10：20）

注意事項

1. 開始の合図で

- ◆ この問題用紙にはさんである解答用紙を取り出さない。
- ◆ 解答用紙，問題用紙，下書き用紙の所定の欄に受験番号を書き入れなさい。
- ◆ 解答はすべて解答用紙の所定の欄に書き入れなさい。
- ◆ 問題文は10 ページあり，その順序は 理 1 ～ 理 10 で示しています。
ページ漏れや印刷不鮮明などに気づいた場合には，手をあげなさい。

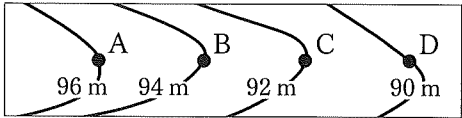
2. 終了の合図で

- ◆ 机の上に，下から順に問題用紙，下書き用紙，解答用紙を置きなさい。
解答用紙だけは裏返して置きなさい。

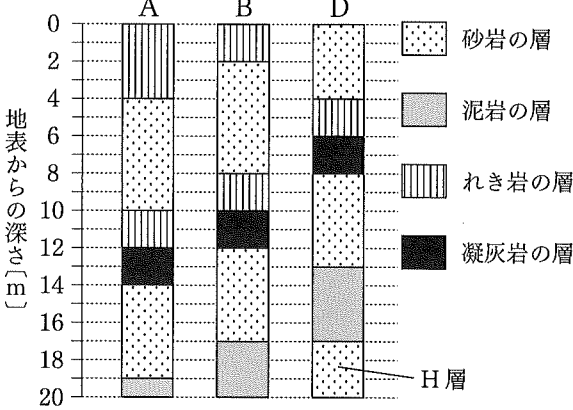
【1】 次の（１）～（４）の問いに答えなさい。

（１） [図１] は、ある地域の地形を等高線で表したものであり、数値は標高を示す。[図２] は、[図１] の地点A、B、Dにおけるボーリング調査をもとに作成した地層の重なり方を示した柱状図である。また、ビカリアの化石が[図２]の地点DのH層からのみ見つかった。①～③の問いに答えなさい。

[図１]



[図２]



- ① 下線部の化石のように、限られた時代の地層にしか見られない、その年代を示す目印となるような化石を何というか、書きなさい。
- ② この地域の地層には、凝灰岩の層がふくまれている。次の文は、凝灰岩の層が堆積した当時のようすを述べたものである。（ a ）に当てはまる語句を書きなさい。

凝灰岩の層があることから、この層が堆積した当時、（ a ）が起こったことを示している。

- ③ [図１] の地点Cにおいて、同様にボーリング調査をしたとき、凝灰岩の層は地表からどれくらいの深さの位置にあるか。最も適当なものを、ア～エから１つ選び、記号を書きなさい。ただし、この地域の地層は、断層やしゅう曲は見られず、各層はそれぞれ同じ厚さで水平に積み重なっており、上下の入れかわりはなく、凝灰岩の層は１つであるものとする。
ア 4 m～6 m イ 6 m～8 m ウ 8 m～10 m エ 10 m～12 m

（２） 発電方法について、それぞれの発電のしくみとエネルギーの移り変わりを[表１]のようにまとめた。①～③の問いに答えなさい。

[表１]

発電方法	発電のしくみとエネルギーの移り変わり
火力発電	石油、天然ガス、石炭などを燃やして、高温の水蒸気をつくり、発電機を回して発電する。 化学エネルギー → （ X ）エネルギー → 電気エネルギー
水力発電	ダムにたまった水の（ Y ）エネルギーを利用して、発電機を回して発電する。 （ Y ）エネルギー → 電気エネルギー
地熱発電	地下深くの熱によって蒸気を発生させ、発電機を回して発電する。 （ X ）エネルギー → 電気エネルギー
（ b ）発電	（ b ）とよばれる植物・廃材・生ゴミ・下水・動物の排泄物などの有機資源を燃やすことで、火力発電と同様に発電を行う。 化学エネルギー → （ X ）エネルギー → 電気エネルギー

① [表１] の（ X ），（ Y ）に当てはまるエネルギーの組み合わせとして最も適当なものを、ア～エから１つ選び、記号を書きなさい。

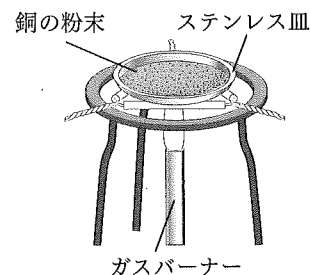
	ア	イ	ウ	エ
X	位置	核	熱	運動
Y	熱	位置	位置	熱

- ② 火力発電の長所として最も適当なものを、ア～エから１つ選び、記号を書きなさい。
ア 燃料を必要としない。 イ 出力のコントロールをしやすい。
ウ 二酸化炭素を排出しない。 エ 少量の燃料で大きなエネルギーがとり出せる。
- ③ [表１] の（ b ）に当てはまる語句を書きなさい。

(3) 銅を加熱したときの質量の変化について次の実験を行った。①～③の問いに答えなさい。

- ① 銅の粉末、同じ質量のステンレス皿 5 枚、電子てんびんを用意した。
- ② ステンレス皿の質量をはかった。
- ③ 銅の粉末を 1.00 g はかりとった。
- ④ はかりとった銅の粉末をステンレス皿全体にうすく広げ、全体の色が変化するまで、[図 3] のようにガスバーナーで加熱した。加熱をやめ、ステンレス皿が冷えてから皿全体の質量をはかった。加熱後の皿全体の質量の変化がなくなるまで、この操作を繰り返し行った。
- ⑤ ④の後、皿全体の質量からステンレス皿の質量をひき、酸化銅の質量を求めた。
- ⑥ はかりとる銅の粉末の質量を 2.00 g, 3.00 g, 4.00 g, 5.00 g と変えて、④, ⑤の操作を同様に行った。

[図 3]



[表 2] は、はかりとった銅の質量と反応後に生成した酸化銅の質量をまとめたものである。ただし、この実験において、ステンレス皿の質量は加熱の前後で変化せず、ステンレス皿は銅と化学反応しないものとする。

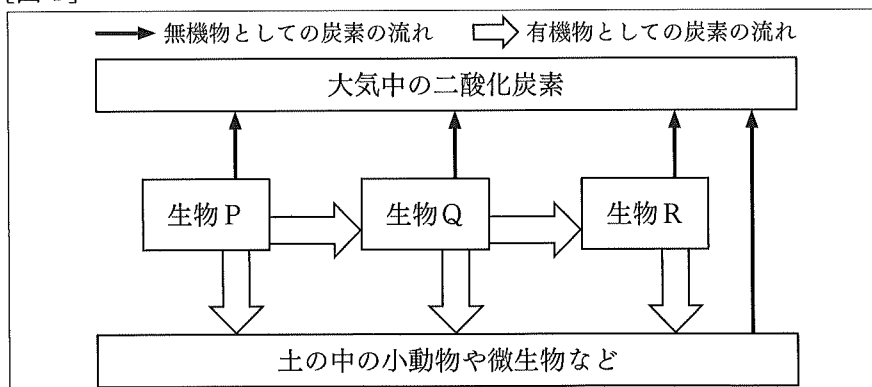
[表 2]

銅の質量 [g]	1.00	2.00	3.00	4.00	5.00
生成した酸化銅の質量 [g]	1.25	2.50	3.75	5.00	6.25

- ① この実験において、銅を加熱したときに起こる化学変化を、**化学反応式**で書きなさい。ただし、このときに生成する酸化銅の化学式は CuO であるものとする。
- ② [表 2] をもとにして、銅の質量と反応した酸素の質量の関係を、**解答欄のグラフ**に表しなさい。ただし、縦軸のすべての () 内に**適当な数値**を書くこと。
- ③ この実験と同様の操作で、6.50 g の銅の粉末を加熱するとき、生成する酸化銅の質量は何 g か、[表 2] をもとにして、四捨五入して**小数第二位**まで求めなさい。ただし、生成する酸化銅は銅が酸素と完全に反応して生じるものとする。

(4) [図 4] は生態系における炭素の流れを矢印で模式的に表した図である。[図 4] 中の $\longrightarrow$ は無機物としての炭素の流れを、 $\Rightarrow$ は有機物としての炭素の流れを示している。また、[図 4] の生物 P, Q, R は、ネズミ、イネ、タカのいずれかである。①～③の問いに答えなさい。

[図 4]



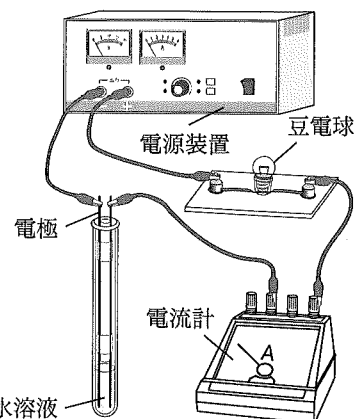
- ① [図 4] 中の生物 P, Q, R の関係のように、食べる生物と食べられる生物に着目して、1 対 1 の関係で順番に結んだものを何というか、書きなさい。
- ② 生物 R は、ネズミ、イネ、タカのどれか、書きなさい。
- ③ [図 4] 中には、無機物としての炭素の流れを示す矢印が 1 本欠けている。欠けている 1 本の矢印を、**解答欄の図**に表しなさい。ただし、無機物としての炭素の流れは $\longrightarrow$ で書くこと。

【2】 次の(1)～(7)の問いに答えなさい。

Ⅰ いろいろな水溶液に電流が流れるかを調べた。

- ① ショ糖、塩化ナトリウム、エタノール、塩化銅をそれぞれ別の試験管で精製水に溶かし、水溶液をつくった。
- ② [図1]のように電極、電流計、豆電球、電源装置をつないで装置を組み立てた。①でつくった水溶液が入った試験管に電極を入れ、電圧を加えてそれぞれの水溶液に電流が流れるか調べた。なお、水溶液の入った試験管をかえる際には、電極を精製水でよく洗った。
- ③ ②の結果、塩化ナトリウム水溶液と塩化銅水溶液に電流が流れ、豆電球が光った。

[図1]

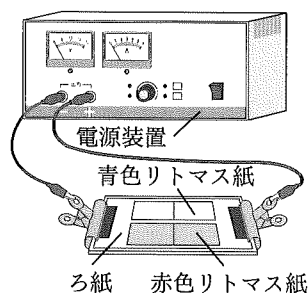


- (1) 塩化ナトリウムや塩化銅のように、水に溶かしたとき、水溶液に電流が流れる物質を何というか、書きなさい。
- (2) 塩化ナトリウム水溶液に電流が流れるのは、水溶液中にナトリウムイオンと塩化物イオンが生じているためである。このナトリウムイオンがナトリウム原子からできるとき、そのでき方として最も適当なものを、ア～エから1つ選び、記号を書きなさい。
- ア ナトリウム原子が電子を1個受けとって、+の電気を帯びたナトリウムイオンができる。
- イ ナトリウム原子が電子を1個受けとって、-の電気を帯びたナトリウムイオンができる。
- ウ ナトリウム原子が電子を1個放出して、+の電気を帯びたナトリウムイオンができる。
- エ ナトリウム原子が電子を1個放出して、-の電気を帯びたナトリウムイオンができる。

Ⅱ うすい塩酸の性質について調べた。

- ④ [図2]のように、スライドガラスの上に食塩水をしみこませたろ紙を置き、さらにその上に食塩水をしみこませた青色リトマス紙と赤色リトマス紙を置き、電源装置につないだ。
- ⑤ 電圧を加える前に、[図2]のそれぞれのリトマス紙の中央に引いた線上に、竹串を使ってうすい塩酸をつけると、青色リトマス紙に赤色のしみができ、赤色リトマス紙は色の変化がなかった。次に電圧を加えたところ、青色リトマス紙の中央部分にできた赤色のしみが陰極側に移動した。

[図2]



- (3) 次の文は④、⑤の結果についてまとめたものである。(a), (b) に当てはまる語句の組み合わせとして最も適当なものを、ア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

うすい塩酸をそれぞれのリトマス紙につけると、青色リトマス紙に赤色のしみができたため、うすい塩酸は (a) 性である。また、電圧を加えたところ、赤色のしみが陰極側に移動したため、(a) 性を示す原因の物質は (b) の電気を帯びている。

	ア	イ	ウ	エ
a	酸	酸	アルカリ	アルカリ
b	+	-	+	-

- (4) Ⅱの実験において、うすい塩酸をうすい水酸化ナトリウム水溶液に変えて実験を行ったとき、起こる変化として最も適当なものを、ア～エから1つ選び、記号を書きなさい。
- ア 赤色リトマス紙の中央部分に青色のしみができ、そのしみが陽極側に移動する。
- イ 赤色リトマス紙の中央部分に青色のしみができ、そのしみが陰極側に移動する。
- ウ 青色リトマス紙の中央部分に赤色のしみができ、そのしみが陽極側に移動する。
- エ 青色リトマス紙の中央部分に赤色のしみができ、そのしみが陰極側に移動する。

Ⅲ 塩酸と水酸化ナトリウム水溶液の反応について調べた。

〔6〕 塩酸 10 mL を入れたビーカーを用意し、B T B 液を加えたところ、ビーカー内の水溶液は黄色になった。

〔7〕 〔図 3〕のように、〔6〕の水溶液に、こまごめピペットで水酸化ナトリウム水溶液を 2 mL ずつよくかき混ぜながら加え、そのたびに水溶液の色を観察し、加える水酸化ナトリウム水溶液の体積の合計が 16 mL になるまで続けた。

〔表 1〕は、その結果をまとめたものである。

〔図 4〕は、塩酸 10 mL に水酸化ナトリウム水溶液 2 mL を加えたときの中和のようすを模式的に表した図である。

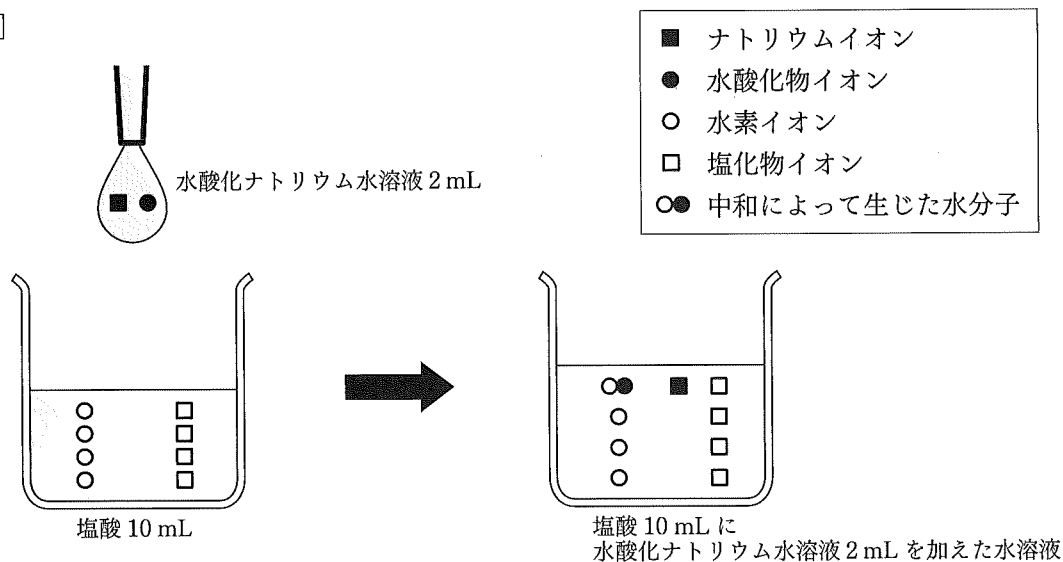
〔図 3〕



〔表 1〕

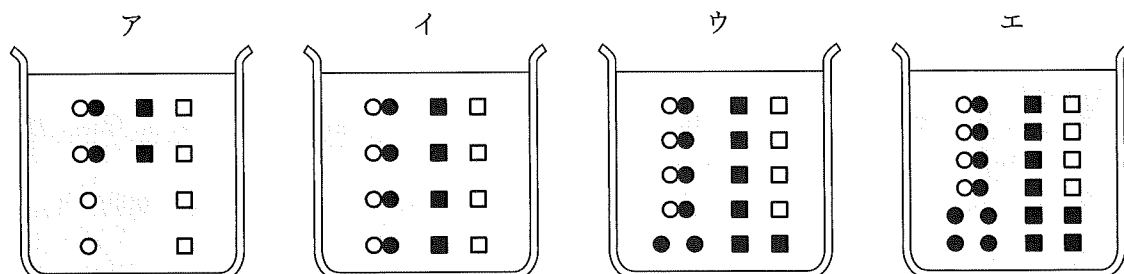
加えた水酸化ナトリウム水溶液の体積 [mL]	2	4	6	8	10	12	14	16
ビーカー内の水溶液の色	黄	黄	黄	緑	青	青	青	青

〔図 4〕



(5) 塩酸に水酸化ナトリウム水溶液を加えたときの化学変化を、化学反応式で書きなさい。

(6) 〔7〕において、加えた水酸化ナトリウム水溶液が 8 mL のとき、〔図 4〕を参考にして、加えた後の水溶液のようすを模式的に表した図として最も適当なものを、ア～エから 1 つ選び、記号を書きなさい。



(7) 〔7〕において、加えた水酸化ナトリウム水溶液が 16 mL のとき、加えた後の水溶液の中に最も多くふくまれるイオンとして最も適当なものを、ア～エから 1 つ選び、記号を書きなさい。

ア 水素イオン イ ナトリウムイオン ウ 水酸化物イオン エ 塩化物イオン

【3】 次の（１）～（７）の問いに答えなさい。

Ⅰ 太郎さんと花子さんは、学校の敷地内に生えている植物について、生えている場所の環境のちがいによって植物の種類が変わるのかを調べた。

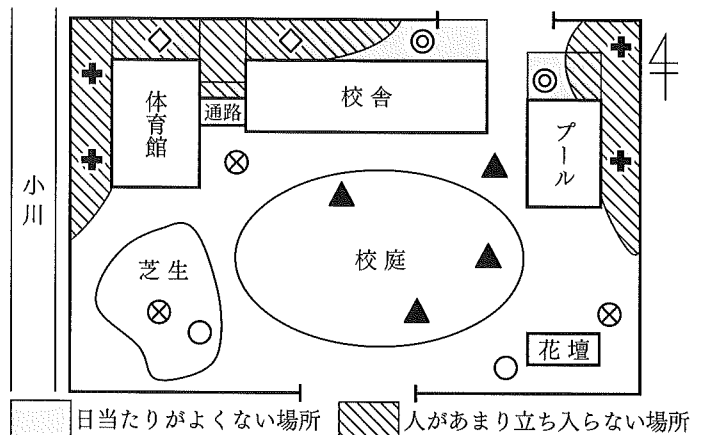
- ① 植物の体のつくりなど、細かい部分はルーペを用いて観察した。
- ② 敷地内を歩いて見つけた植物は、タブレット端末で写真を撮り、記録に残した。
- ③ ②で見つけた植物の種類と見つけた場所を、学校の地図上に記号で記入した。
- ④ 日当たりのよさと人の立ち入りやすさを調べ、③で作成した地図上にかき加えた。

〔メモ１〕は②で見つけた植物の一覧であり、〔図１〕は③、④の結果をまとめたものである。

〔メモ１〕

- | | |
|--------|-----------|
| ○カタバミ | ▲スズメノカタビラ |
| ✦ハルジオン | ◇モウソウチク |
| ⊗オオバコ | ◎ゼニゴケ |

〔図１〕



（１） 次の文は、ルーペの使い方について説明したものである。（ a ）、（ b ）に当てはまる語句の組み合わせとして最も適当なものを、ア～エから１つ選び、記号を書きなさい。

- ・ルーペは（ a ）に近づけて持ち、観察物を前後に動かして、よく見える位置を探す。
- ・観察物が動かせないときは、ルーペを（ a ）に近づけたまま、（ b ）を前後に動かして、よく見える位置を探す。

	ア	イ	ウ	エ
a	観察物	観察物	目	目
b	顔	ルーペ	顔	ルーペ

（２） ③、④で、学校の敷地内に生えている植物には、いろいろな種類があることがわかった。カタバミやスズメノカタビラなどの草たけの低い植物と、ハルジオンやモウソウチクなどの草たけの高い植物が生えている場所の環境のちがいについて、〔図１〕の植物の分布をもとに説明した文として最も適当なものを、ア～エから１つ選び、記号を書きなさい。

- ア 草たけの低い植物が生えている場所は人がよく立ち入る場所であり、草たけの高い植物が生えている場所は人があまり立ち入らない場所である。
- イ 草たけの低い植物が生えている場所は人があまり立ち入らない場所であり、草たけの高い植物が生えている場所は人がよく立ち入る場所である。
- ウ 草たけの低い植物が生えている場所は日当たりがよい場所であり、草たけの高い植物が生えている場所は日当たりがよい場所である。
- エ 草たけの低い植物が生えている場所は日当たりがよい場所であり、草たけの高い植物が生えている場所は日当たりがよい場所である。

Ⅱ 次に太郎さんと花子さんは、学校周辺に生息している動物について調べた。

- ⑤ 学校周辺を調べて見つけた動物は、タブレット端末で写真を撮り、名前を〔メモ２〕に記録した。
- ⑥ 動物のもつ特徴に注目し、見つけた動物を分類する方法を考えた。

〔メモ２〕

- | | |
|------|--------|
| ・スズメ | ・カエル |
| ・メダカ | ・ヘビ |
| ・ミミズ | ・カラス |
| ・ネコ | ・ダンゴムシ |

- (3) 次の文は、[6]で考えた方法を用いて実際に分類を行ったときの太郎さんと花子さんと先生の会話である。会話中の□P□, □Q□に当てはまる語句の組み合わせとして最も適当なものを、ア～エから選び、記号を書きなさい。

太郎：学校周辺で見つけた動物について、□P□という観点で分類すると、[表1]のAとBのグループに分けることができました。

先生：本当にそうでしょうか。□P□という観点で分類すると、ヘビはBグループにあてはまりますね。

太郎：確かにそうですね。ヘビはBグループに分類し直します。

花子：そのBグループの動物を、さらに□Q□という観点で分類すると、[表2]のCとDのグループに分けることができますね。

先生：そうですね。□Q□という観点で分類すると、妥当な分け方だといえます。

太郎：今回実際に分類してみて、複数の観点を使うことで細かく分類できることが分かりました。

花子：いろいろな観点で分類すると分類結果も変わって面白そうですね。

[表1]

Aグループ	Bグループ
スズメ	ダンゴムシ
ネコ	メダカ
カラス	カエル
ヘビ	ミミズ

[表2]

Cグループ	Dグループ
カエル	ヘビ
ダンゴムシ	メダカ
	ミミズ

	ア	イ	ウ	エ
P	体の表面が毛（または羽毛）で覆われているかいないか	体の表面が毛（または羽毛）で覆われているかいないか	翼があるかないか	翼があるかないか
Q	あしがあるかないか	主な生活場所が陸上か水中か	あしがあるかないか	主な生活場所が陸上か水中か

Ⅲ 太郎さんと花子さんは、学校周辺の生物の観察を終えた後、単元の学習を進め、動物の分類の方法を学んだ。

[7] [5]で見つけた[メモ2]の動物を、脊椎動物と無脊椎動物の2つのグループに分類した。

[8] 脊椎動物をさらに5つのグループに分類し、それぞれの特徴を[表3]のようにまとめた。

[表3]

グループ	両生類	W	X	Y	Z
呼吸のしかた	子ときは□R□と皮ふで呼吸し、成長すると肺と皮ふで呼吸する。	肺で呼吸する。	□R□で呼吸する。	肺で呼吸する。	肺で呼吸する。
体の表面のようす	皮ふは湿っており、乾燥に弱い。	羽毛で覆われている。	うろこで覆われている。	やわらかい毛で覆われている。	かたいうろこで覆われている。
子の生まれ方	卵生	卵生	卵生	胎生	卵生

- (4) [7]で行った分類において、[メモ2]の動物のうち、無脊椎動物に分類される動物をすべて選び、動物名を書きなさい。

- (5) [表3]中の□R□に当てはまる語句を書きなさい。

- (6) [表3]で、哺乳類はどのグループか、最も適当なものを、W～Zから1つ選び、記号を書きなさい。

- (7) Ⅰ～Ⅲを通して太郎さんと花子さんが行った学習活動において、2人が学んだ生物を分類するための方法として適当なものを、ア～エからすべて選び、記号を書きなさい。

ア 生物の生息している環境のちがいは考えず、体の大きさだけを比較して分類する。

イ いろいろな生物の特徴を比較して見つけた共通点や相違点をもとに分類する。

ウ 生物の名前をもとにして、似たような名前の生物を同じグループに分類する。

エ 大きく分ける観点を先に設定し、その後で細かいちがいを比較して分類する。

【4】 次の（１）～（７）の問いに答えなさい。

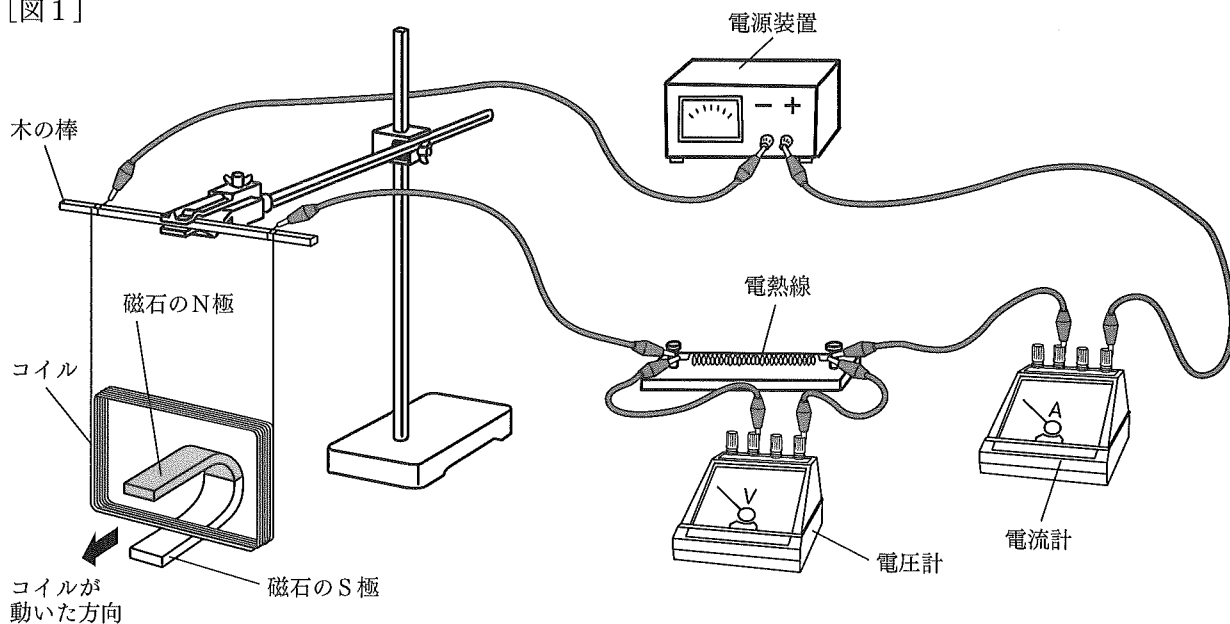
Ⅰ 花子さんと太郎さんは、モーターやスピーカーなどが磁石とコイルを組み合わせられてつくられていることを知り、電流が流れているコイルが磁界から受ける力について調べた。

① 電源装置とコイル、磁石、木の棒、電熱線、電流計、電圧計を用いて、[図１]のような装置を組み立てた。

② [図１]の回路に電流を流したところ、コイルが矢印の方向へ動いた。

③ ②のとき、電圧計の数値は 3.0 V を示し、電流計の数値は 200 mA を示した。ただし、電熱線に流れる電流の大きさは、電流計が示した値と同じ大きさであるものとする。

[図１]



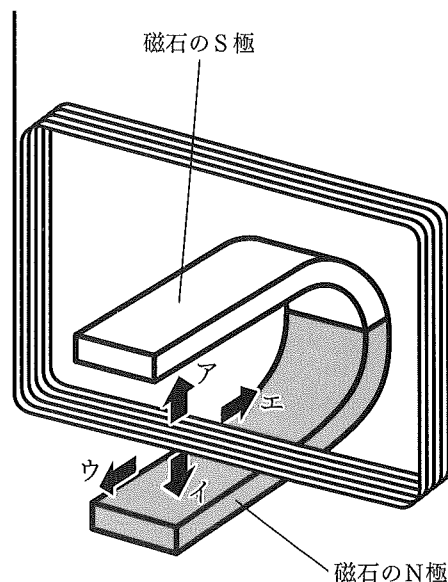
（１） ③で、電熱線の抵抗は何 Ω か、求めなさい。

（２） ③で、電熱線の消費電力は何 W か、求めなさい。

（３） ③で、電熱線に 200 mA の電流が 20 秒間流れたとき、電熱線で消費された電力量は何 J か、求めなさい。

（４） [図１]の装置において、[図２]のように磁石のN極とS極を入れかえ、回路に電流を流したとき、コイルが動く方向として最も適当なものを、ア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

[図２]



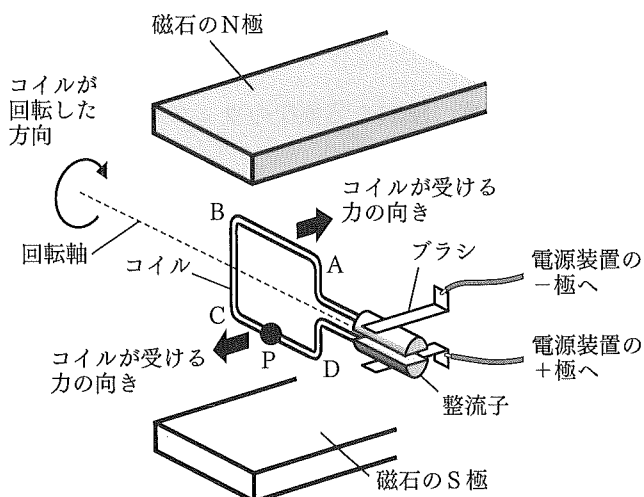
Ⅱ 次に花子さんと太郎さんは、コイルが回転する仕組みについて調べた。

④ コイル（導線A B C D）、磁石、ブラシ、整流子を用いて、[図3]のような装置をつくった。

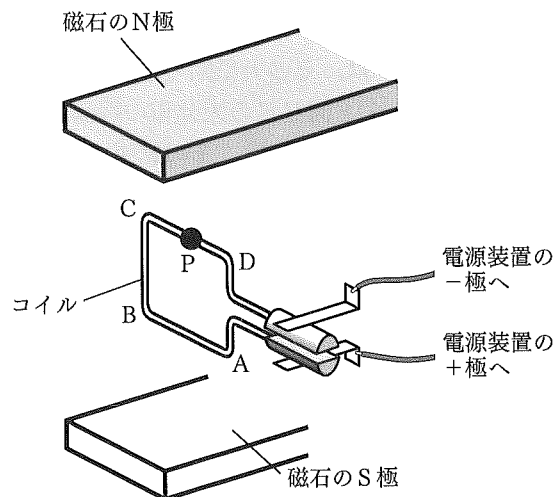
⑤ ④でつくった装置に電流を流し、コイルの回転する方向を調べたところ、[図3]の矢印の方向に力がはたらき、コイルは回転軸を中心に整流子側から見て時計回りに回転した。

⑥ ⑤の後、コイルが180°回転し、[図4]の状態になった。

[図3]

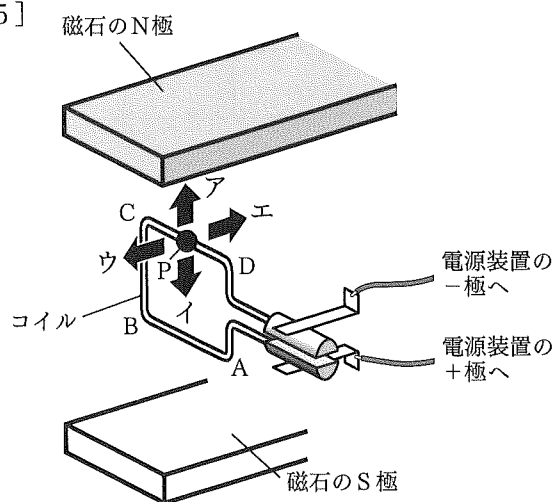


[図4]



(5) ⑥で、[図4]のコイル上のP点が受ける力の向きとして最も適当なものを、[図5]のア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

[図5]



(6) 次の文は、Ⅱの実験における整流子のはたらきについて述べたものである。[a]に当てはまる語句を書きなさい。

整流子は、コイルを同じ向きに連続して回転させるために、[a]はたらきがある。

(7) コイルの回転する速さについて、花子さんと太郎さんは先生と次の会話をした。[b]に当てはまる語句を書きなさい。

先生：コイルの回転を速くするためには、どのようにすればよいでしょうか。

花子：コイルが受ける力を大きくすればよいのではないのでしょうか。

先生：なるほど。それでは、コイルや磁石を変えずに、コイルが受ける力を大きくするためには、どのようにすればよいでしょうか。

太郎：[b]すればよいと思います。

先生：そのとおりですね。では、次の時間に実験で確かめてみましょう。

【5】 次の(1)～(6)の問いに答えなさい。

花子さんと太郎さんは、気象について観測と調査を行った。

- ① 花子さんは、ある日の午前9時に、大分市のX中学校において、空のようすを観察して雲量を調べた。さらに、風向計と風力計を用いて、風向と風力を調べた。

〔表1〕は、その結果である。

〔表1〕

雲量	9
風向	南南西
風力	2

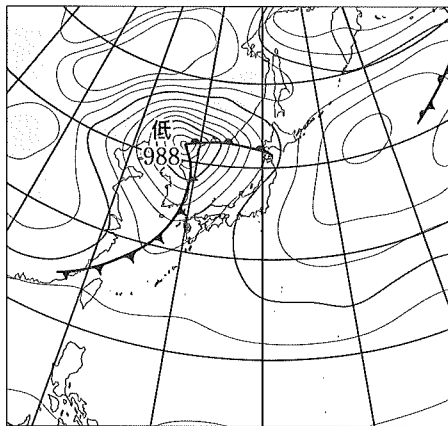
- ② 太郎さんは、①と同じ日の午前9時の天気図を気象庁のウェブサイト調べた。

〔図1〕は、その天気図である。

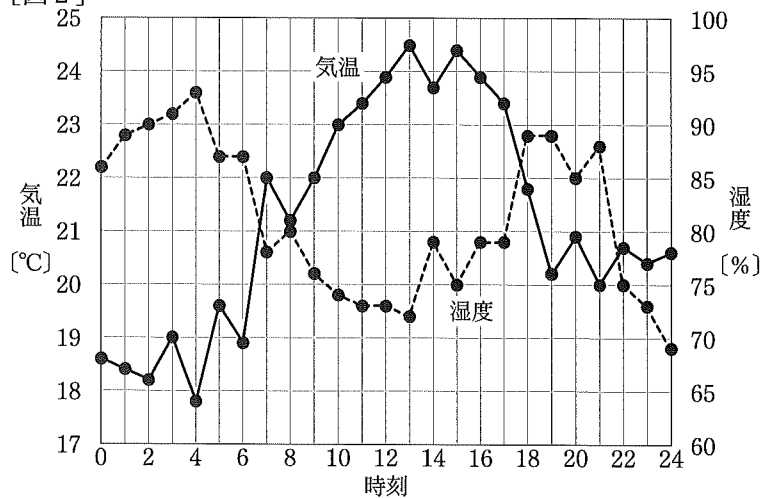
また、①と同じ日の大分市の観測点Yにおける気温と湿度、風向を気象庁のウェブサイトで調べた。

〔図2〕,〔表2〕は、その結果である。

〔図1〕



〔図2〕



〔表2〕

時刻	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
風向	南南東	南	南南東	南	南南東	南南東	南	南南東	南	南南西	西	北西	南西	南南東	南南西	南	南南東	南南東	北	北	北東	南	西北西	北西	西

- (1) 〔表1〕をもとに、風向、風力、天気を、天気図記号を用いて書きなさい。ただし、天気は、快晴、晴れ、くもりのいずれかを、雲量によって判断すること。
- (2) 〔図1〕で、低気圧の中心から、東側へのびている前線の特徴として最も適当なものを、ア～エから1つ選び、記号を書きなさい。
- ア 寒気が暖気の上にはい上がっていくため、雲ができる範囲が広く、雨は広い範囲に長く降り続く。
- イ 暖気が寒気を激しくもち上げるため、上にのびる雲が発達し、狭い範囲に強い雨が短い時間降る。
- ウ 暖気が寒気の上にはい上がっていくため、雲ができる範囲が広く、雨は広い範囲に長く降り続く。
- エ 寒気が暖気を激しくもち上げるため、上にのびる雲が発達し、狭い範囲に強い雨が短い時間降る。
- (3) 〔図2〕,〔表2〕をもとに、寒冷前線が観測点Yを通過したと考えられる時間として最も適当なものを、ア～エから1つ選び、記号を書きなさい。
- ア 13時～14時頃 イ 17時～18時頃 ウ 20時～21時頃 エ 22時～23時頃

(4) [表3] は気温と飽和水蒸気量の関係を示したものである。[図2] において、午前10時の気温は23℃、湿度は74%である。[表3] を用いて、午前10時の観測点Yにおける空気露点として最も適当なものを、ア～エから1つ選び、記号を書きなさい。

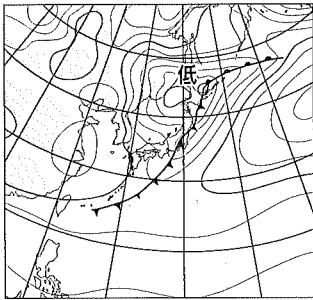
[表3]

気温 [℃]	15	16	17	18	19	20	21	22	23
飽和水蒸気量 [g/m³]	12.8	13.6	14.5	15.4	16.3	17.3	18.3	19.4	20.6

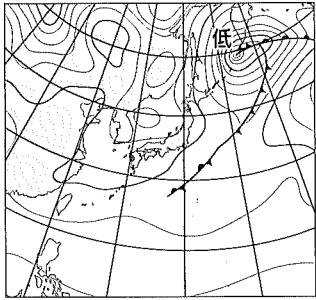
- ア 16℃以上 17℃未満
- イ 17℃以上 18℃未満
- ウ 18℃以上 19℃未満
- エ 19℃以上 20℃未満

(5) ①の1日後、2日後の午前9時における天気図をそれぞれ調べたところ、[図3]、[図4] のとおりであり、前線が移動したことがわかった。このような前線の移動に影響を与える上空に吹いている風を何というか、書きなさい。

[図3]



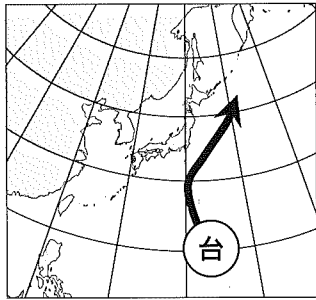
[図4]



(6) ①の観測をした年の10月、日本に台風Z号が接近し、[図5] の矢印のように移動した。①、②の問いに答えなさい。

- ① 台風について、中心部の地表付近における空気の流れを模式的に表した図として最も適当なものを、ア～エから1つ選び、記号を書きなさい。ただし、ア～エ中の黒矢印(→)は地上付近の風を、白矢印(⇨)は上昇気流または下降気流を表している。

[図5]



- ア

等圧線
- イ

等圧線
- ウ

等圧線
- エ

等圧線

② 台風Z号は日本の東の海上を北へ移動し、しだいに勢力が衰えていった。台風の勢力が衰えたことについて、花子さんと太郎さんは先生と次の会話をした。□に当てはまる語句を簡潔に書きなさい。ただし、「海面の水温」という語句を用いて書くこと。

花子：なぜ、台風Z号は日本の東の海上を北へ移動したあと、勢力が衰えたのでしょうか。

先生：台風Z号が北へ移動したときの、海面の水温をもとに考えてみるとどうですか。

太郎：台風Z号が北へ移動すると、□

ために、台風の目のまわりをとりまいている積乱雲が少なくなったからではないでしょうか。

先生：そのとおりです。

